

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	下関市立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シモノセキシリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F135210110061
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山口県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	准教授 上野 恵美・准教授 佐々木 淳・特命教授 砂原 雅夫・教授 鶴沢 真・准教授 西田 郁子
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	9
	受入企業等数	18
	受入企業等名	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/shusyoku/is_index.html
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動 5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	イベント補助、商品企画、顧客対応などの実際の業務、受入企業等が抱えている課題解決、営業同行など
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している 9.その他
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	事前・事後学習および報告会は授業期間中に実施、就業体験は休業期間中に実施している。

項目	確認事項	届出内容
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
		大学 学部4年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	夏季休暇期間中、3年次以上を対象に、5日間(40時間)以上、企業や官公庁などで就業体験を行うタイプ3のインターンシッププログラムである。単位認定については、事前講習会への参加(20%)+就業体験(40%)+報告書・報告会(40%)によって評価を行い、2単位を付与している。(事前・事後学習は授業期間中に実施)
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	国際インターンシップについては、危機管理についての講習を行っている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	マナーや守秘義務、受入企業等に関する理解を促進する講習を実施。また、全体及び1日ごとの目標設定や行動計画策定を行っている。さらに、国際インターンシップは各国の文化やビジネス慣習を理解する講習を別途実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	報告書作成や報告会での発表を通じて、全体及び1日ごとに立てた目標に対する達成度を自己評価し、今後の大学生活や職業選択への活かし方を考察している。加えて、受入企業等からのフィードバック(評価)を踏まえて、自身の強みと課題、自分の適性や能力に対する気づきや把握を促している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	教員が受入企業等を訪問し、研修の視察や担当者、学生と面談を行っている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	社会人基礎力をベースとしたルーブリックを事前学習の中で回答させている。インターンシップ実施後にも同じルーブリックを回答させることで、自分自身の汎用的能力がインターンシップを通じてどれだけ伸びたのかを測定している。また、日報や報告書を通じて、参加前後の学生の意識や行動変容について確認を行っている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	実施期間5日間。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	同一企業等において連続した5日間以上の実施期間を確保したプログラムである。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
6-3.上記回答内容に関する詳細	毎年インターンシップ実施前(4月)に受入企業等とプログラムを見直すことで、絶えず内容の向上を図っている。また、受入企業等には、研修に加えて、学生に対する評価のフィードバックや報告会への参加などで、協力して頂いている。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://campusweb.shimonoseki-cu.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?value(riyvunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=A233025000&value(crclumcd)=2310100000	
問い合わせ先	大学等名	下関市立大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター長補佐
	担当者氏名	尼子大輔
	電話番号	083-252-0288
	メールアドレス	shusyoku@shimonoseki-cu.ac.jp